

産業・経済・労働

水田法面への防草シート敷布事業の創設



山口 弘宣 議員

中山間地域で基盤整備された水田は、依然として段々の構造である。しかも基盤整備により法面部分が急傾斜かつ幅が広がっており、高齢の農業従事者にとっては草刈り作業が大変困難な状況となっている。今後、草刈りの労力を軽減するため、国、県の補助事業を活用した防草シート敷布事業を創設する必要があると思うがどうか。

答

防草シートの導入については、現在実施している多面的機能支払交付金を活用することができる。本市の活動組織においても、過去にこの交付金を活用した実績があるため、引き続き周知に取り組みたい。また、この交付金のほか、国、県の補助金で活用できるものがないか研究したい。



産業・経済・労働

最少の経費で最大の効果を発揮する施策を



水上 亨 議員

地域経済活性化のため、平成30年度の新規事業として予定されている地域連携ポイント事業には、約7,000万円の事業費が必要とされている。しかし、市民や、あらゆる業種の市内中小事業者からは、この新規事業の実施よりも、住宅リフォーム支援事業の復活の要望が出されている。経済波及効果が顕著にあらわれた住宅リフォーム支援事業のこれまでの補助額と工事額を問う。

答

住宅リフォーム支援事業は平成24年度から27年度まで実施しており、年度ごとの補助額と工事額は、平成24年度は4,477万8,000円と6億2,498万7,000円、25年度は6,345万3,000円と8億7,605万5,000円、26年度は2,977万6,000円と3億9,210万円、27年度は2,937万4,000円と3億9,824万9,000円である。



産業・経済・労働

大村湾周遊鉄道・道路で大村湾のPRを!



北村 貴寿 議員

JR大村線は大村湾を一周することができないため、周遊観光鉄道を設置してはどうか。また、別府市を参考にし、市民力を生かした一周動画コンテストを行い、大村湾サミットでの表彰や、一周道路の指定や環境整備を大村湾流域の5市5町に提案してはどうか。

答

周遊観光鉄道については、実現困難だと感じている。また、別府市を参考にした取り組みについては、そのような手法がとれないか検討するとともに、大村湾を生かした取り組みは非常に重要であるため、来年度の重点事業に加えることも検討したい。まずは、大村湾経済圏構想の足掛かりとなる大村湾ZEKKEIライドを市民主導と5市5町の連携で成功させ、次の段階に向けて、関係市町との意見交換を重ねていきたい。



産業・経済・労働

新幹線開業後の産業振興行政



廣瀬 政和 議員

5年後の新幹線開業に向けて、新大村駅前を大村市活性化の拠点とする構想が公表されている。民間による交通や観光、ビジネス等の関連企業の誘致が考えられているが、現在も変更はないのか尋ねる。また、来年4月からの分譲を目指し造成中の新工業団地への企業誘致の取り組みの現状について尋ねる。

答

新駅周辺整備については、平成26年に策定した「大村市新幹線新大村駅（仮称）周辺地域まちづくり計画」に沿って、民間活力を導入して、積極的に進めていく。また、新工業団地については、県等と連携を図りながら誘致活動を行っており、本市独自の活動としては、企業へのアンケート調査をもとに企業訪問などを実施している。

